

第1回 9月6日(金)

日本音楽療法史

サイエンス&アート

～歴史的音源でたどる「医療」と「音楽」のあゆみ～

医療と音楽とのつながりは古く、東西で太古まで遡ります。とりわけ日本では、江戸中期に音楽療法の理論が定着し、明治後期には医療現場で実践がはじまりました。本講座では、近世・近代の日本に焦点をあて、人びとの癒しや慰め、そして治療にどのように音楽がかかわってきたのか、レコードや映像など歴史的音源と共にそのあゆみをご紹介します。

国立国会図書館
関西館

国際日本文化研究センター
総合情報発信室 助教

光平 有希

アバターを用いた

ウェルビーイング

新しいリハビリテーションの紹介

～自分のアバター(分身)が活躍する未来～

現実の自分の容姿や体型を変えるには時間や努力が必要となりますが、VR(人工現実)内にある自分のアバター(分身)は自由に変えることが可能です。最近の研究では、このアバターを変容させることにより、現実の自分の心身に影響を与えることがわかってきました。そこで、本講演では、アバターを用いた新しいリハビリテーションの可能性について紹介します。

奈良学園大学 保健医療学部
リハビリテーション学科長・教授

辻下 守弘

共生社会の実現をめざした ユニバーサルデザイン

ウェルビーイング

～利用者・支援者と連携した実践的研究の事例の紹介～

ユニバーサルデザインは、誰にとってもわかりやすく、使いやすい製品をデザインする考え方の一つで、誰もが安心して暮らせる共生社会を実現するために欠かせません。本講演では、発表者が利用者と連携して行ってきた実践的研究の事例を紹介しながら、共生社会の実現をめざしたユニバーサルデザインについてお話しします。

同志社女子大学 生活科学部 人間生活学科 教授 土井 幸輝

第2回 9月13日(金)

交配組み合わせが

ウェルビーイング

ブルーベリーの果実品質に及ぼす影響

～栽培の安定化に向けて～

ブルーベリーの栽培において、他家受粉を促進することは重要です。他家受粉が行われると、果実中の種子数が増加し、着果率および果実サイズが向上します。私たちは、ブルーベリーの種子形成と果実発育の関係を明らかにすることを目指しています。本講演では、日本で栽培されているブルーベリーの育種過程にも触れつつ、受粉と果実品質に関する研究事例を中心に、栽培の安定化を目指す取り組みについて解説します。

京都大学 大学院 農学研究科附属農場 助教 長坂 京香

原始的な花と野菜を 魅力的な品種に

ウェルビーイング

～トレニアとサトイモはどこまで変わるか～

私たちは、様々な作物に囲まれて豊かな生活を送っています。これらは、人間が長い期間をかけて品種改良に取り組んだ努力の賜物です。一方で、生命科学が発達した現代においても、品種改良がほとんど進んでいない「原始的な」作物はたくさんあります。このような作物を改良することの意義と私どもの取り組みを、トレニアとサトイモを例にして紹介します。

京都府立大学 大学院 生命環境科学研究科 教授 西島 隆明



第3回 9月20日(金)

新素材の開発

サイエンス&アート

～分子設計と分解性高分子～

金属材料とセラミックス材料に並び、高分子材料は世の中の三大材料の一つであり、生活には欠かせない材料です。高分子材料は分子レベルで自由に構造や機能を設計できるため、新しい素材や機能性材料を創りだす無限の可能性を秘めています。本講演では、講演者が設計し合成してきた様々な分解性高分子材料をご紹介します。

奈良先端科学技術大学院大学
先端科学技術研究科 物質創成科学領域 教授

網代 広治

脳の発生と発達への 環境因子の作用

ウェルビーイング

～世界があり、わたしたちがある～

脳発生について父親の糖尿病や加齢、ストレスの子どもへの影響、また妊娠中のアルコール摂取が胎児の脳発生に与える影響について話します。生後の脳発達については養育が脳の発達や行動に与える影響などを取り上げます。私が今までの研究から学んだことは、今ある脳の機能はこれまでの経験の反映であるということです。

同志社大学 脳科学研究科 教授 元山 純

日本書紀のジグソーパズル

サイエンス&アート

～古代東アジア世界の再検討～

日本書紀はまるでジグソーパズルです。パズルを解くことで編纂者の意図＝「史実」がわかります。ピースは天皇や皇后、百済王、新羅王、ピースの凹凸は即位や崩御の紀年です。たとえば、日本武尊が天皇だった可能性、倭の五王は朝貢していなかった可能性が「史実」として浮かび上がります。検証には七支刀銘文や広開土王碑も使います。

大阪電気通信大学
総合情報学部 デジタルゲーム学科 教授

高見 友幸